

# 常盤中学校コミュニティスクールだより

No. 3

令和6年度の第3回学校運営協議会が、2月25日（火）10時から常盤北小学校の大会議室等で行われました。

第3回は、全体会を常盤小学校・常盤北小学校と合同で行いました。分科会では、それぞれの学校に分かれて、今年度の学校の取組について報告し、学校運営協議会の委員の皆様からご意見をいただきました。また、来年度の学校運営について説明し、委員の皆様から仮承認をいただきました。



〈令和6年度 学校運営協議会参加者〉（常盤中学校）

【学校運営協議会 委員】

栗原 勝義	会長	佐藤 好子	副会長								
志水 正	委員	柴崎 八重	委員	佐藤 マミ	委員	財部 幸樹	委員				
新船 孝子	委員	大庭 裕信	委員	菊地 耕太郎	委員	作間 由美子	委員				
斎藤 光人	委員	山本 夕紀	委員	輿石 純美	委員	玉崎 芳行	委員				
藤田 雅彦	委員										

【常盤中学校】

古川 明子 教頭 曳地 常和 教頭



〈学校運営協議会の様子〉

【全体会】

はじめに、各学校で実施した第2回学校運営協議会の内容について、常盤中学校・常盤小学校・常盤北小学校それぞれの教頭から報告しました。

第2回では、各学校において、給食試食会を実施したり、熟議に児童や生徒の代表が参加したりするなどして、学校運営協議会の委員の皆様と児童生徒が直接意見を交流する場を設けていました。そして、熟議テーマである「あいさつについて～コミュニケーション力の向上～」について、学校・家庭・地域それぞれの立場から、現在取り組んでいることや今後取り組むことができる内容について、児童生徒からの意見も交えて、考えを共有していました。



【分科会】

分科会では、はじめに、令和6年度の学校評価の報告を行いました。

教頭より、「学校は楽しいですか」「あいさつ」「いじめへの対応」の項目について、生徒・保護者ともに肯定的な回答が昨年度よりも上回っていたことや、中でも肯定的な回答が大きく伸びた項目として、「子どものよさを伸ばしているか」や「情報発信」が挙げられることについて説明しました。「情報発信」は、約7%の上昇が見られており、今年度途中から導入したデジタル連絡ツール「スクリレ」の活用にもよると考えられることを説明しました。

また、肯定的な回答が下がった項目には、「感染症対策」があり、コロナが5類となって感覚がにぶくなったのか、感染症対策が当たり前になってきたからなのかは、今後も様子を見ていくことを説明しました。

次に、校長より、令和6年度の学校自己評価システムシート及びいじめ防止対策委員会の報告を行いました。

「学力向上に関する取組」「安心・安全に関する取組」「開かれた学校づくりに関する取組」「教職員の資質向上に関する取組」それぞれの項目について、説明しました。

全国学力・学習状況調査や市学習状況調査等の結果から、市内でも高い状況にあり、タブレット等のICTを活用した授業を行い、個別最適かつ協動的な学びの実現を図る授業を展開していることや、全国学力・学習状況調査の結果から、「先生はあなたのよいところを認めていますか」の肯定的回答が全国・市平均に比べて高く、教員の生徒への声掛けや働き掛けが生徒に伝わり、様々な教育活動により影響を与えていることを説明しました。

また、感染症対策を引き続き行っていくことや、非認知能力（EQ）の育成を図ること、開かれた学校づくりについて、学校運営協議会の委員の皆様のご協力のおかげで、学校運営協議会の熟議テーマである「あいさつ」を大切にしながら、人づくりにつなげていくこと、教職員のキャリア段階に応じた資質・能力の向上を図り、風通しのよい職場づくりを4月から目指していることを説明しました。

いじめ防止対策委員会の報告では、いじめゼロが最終的な目標ではあるが、いじめ見逃しゼロを教職員間で共有し、早期発見・被害生徒に寄り添った丁寧な組織的対応につなげていることや、生徒や教職員の人権感覚・言語環境を整えることが大切であることを説明しました。

⇒ 委員の皆様から、自転車通学生徒が多く、安全に対する生徒の意識の向上のため、学校全体として教員や生徒への研修に取り組んでほしいことや、常盤中学校の生徒の活動がすばらしく、先生方が元気に勤務し頑張っている姿が見られること、不登校生徒について、Sola るーむを活用して、地域も協力しながら学校への促しができるとよいとのことをお話をいただきました。今後の教育活動に生かしてまいります。

さらに、令和7年度学校グランドデザイン及び学校評価システムシートの仮承認を行いました。

校長より、学校教育目標を中学生にとどまらず、将来にわたって活躍する人創りに進化させるとともに、生徒のみならず教員にも当てはまる目標として、「心豊かな人創り・自ら学ぶ人創り・活力あふれる人創り」とすること、キーワードを「友愛・自律・進取」とすることについて説明しました。また、来年度の学校評価システムシートの項目立ての変更に伴う、新設項目である「子どもの発達や心のサポートに関する取組」について、来年度の具体的方策や指標を示しました。

⇒上記の内容について、全委員より仮承認をいただきました。

分科会の振り返りとまとめとして、来年度も3校（常盤中・常盤小・常盤北小）の合同で学校運営協議会を行い、今年度の熟議テーマであるあいさつやコミュニケーションの向上について、さらなる取組につなげていくことを確認しました。

## 【全体会】

最後に、3校で集まり、分科会の内容報告を行いました。

小学校2校とも、あいさつの項目が向上したこと、今後もあいさつを通じたコミュニケーションを図っていくこと、自己肯定感を高める取組を続け、日常場面で当たり前にあいさつができるようにしていきたいと説明がありました。

閉会宣言では、あいさつの取組を継続することにより、旗当番の際に中学生があいさつするなど、子どもたちの変容が見られていることが述べられました。

来年度も引き続き、学校運営協議会での取組により、地域・家庭と協力して児童生徒の育成を図ります。御理解・御協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

